

● 高知信用金庫創業100周年のご挨拶

お客様各位

令和5年1月25日

日頃は、高知信用金庫に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

高知信用金庫は、大正12年1月に相互扶助の精神による民意により須崎信用組合として創業し、高知のためだけの金融機関として事業活動を継続し、令和5年1月25日に創業100周年を迎えることができました。

これもひとえに、地域の皆様のご支援、ご愛顧の賜物と、役職員一同心より感謝申し上げます。

高知がもっと豊かであるために、未来について話し合い、創造力を高め、デジタルを駆使して、高知の価値創造に努め、「地域・事業・暮らしの未来」への貢献・サステナブル活動に役職員一同全力で取り組みして参ります。

今後とも格別のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

高知信用金庫
理事長 山崎 久留美

これからも100年ずっと高知で

日々に学べ

「事業として成功を知る」は「成功者を知る」よりも大切なことだ。成功者を知るには、成功者の考えや行動を学ぶ必要がある。成功者は、成功の秘訣を明らかにして、後進に教える。成功者は、成功の秘訣を明らかにして、後進に教える。成功者は、成功の秘訣を明らかにして、後進に教える。



原理原則を重んじる経営

経営は原理原則を重んじていくことが大事。事業経営は、安全経営を基本とし、また、先導的な取り組みを可能とします。効果的な経営を推進します。

時代に即応

「苦しさへの挑戦」を打ち出し、「時代に即応できる強い高知信用金庫」を開けました。情報化社会の到来を予想し、国産ホストコンピュータをいち早く導入。2002年には全現金処理をオンライン化する全国初のシステムを独自開発。視覚障がいに対応できる全国初のATMも、ATM「強力（ゴリキ）」の拡充も山本会長の発案でした。その姿勢は現在も受け継がれ、業務のデジタル化・効率化により、職員一人ひとりがより創造的な仕事に集中できる職場環境を創っています。

100th

高知信用金庫は2023年1月25日で、創業100周年。皆様へ心からの感謝を申し上げます。

高知信用金庫は、ここ高知で、地域の人々が創った協同組織金融機関、高知のためだけの信用金庫です。そんな私たちの価値観を「言葉」にしたのが、山本正男終身名誉会長でした。その言葉たちは燦然と光りを放ち、私たちを照らし続けています。高知がもっと豊かであるために、未来への希望を、未来へと進む勇気を――。私たちは、地域・事業・暮らしの未来に貢献する「地域貢献企業」であり続けるため、常に時代を見据え、IT技術やシステム開発力を駆使する、「革新」という伝統を創り、お客様主義の経営を深めて参ります。

仕事は芸術、終わりが無い

山本会長は、仕事を芸術のような崇高な活動と定義し、自分の路を拓いたくなるような仕事をしているかと、役員に問いかけます。一瞬一瞬に最善を尽くす。終わることのない営みです。

預ければ高く、借る時は安く、手数料は少なく

地域貢献こそが信用金庫経営の基本であるとの思想に基づき、金融機関の理想を説きました。皆様のご預金をできる限り有利に、安全・安心にお預りすること、お客様の資金ニーズにお応えできるよう、低廉で利便性の高い融資商品の開発に努めること、そして、手数料の削減に取り組むこと。その目標は、地域の未来や事業、暮らしに少しでも貢献することになりました。

人創り、利益創り、社会還元

人創りとは、良きお客様、良きパートナー、良き従業員に恵まれること。利益創りとは、創意工夫してお客様に便益を提供し、適正に利潤を得ること。社会還元とは、営みの全てが社会に役立つ活動であること。山本会長の教えであり、当金庫の経営理念、経営活動の根本原理です。

原点に帰らねば

「原点に帰らねば」――。創業50周年の対談で、山本会長はそう語り、「先人たちの足跡が残る、塵のあたるころばかりを走っていないか」と自らに問いかけました。まだ誰も歩いていないところを見つける。それが、地域の社会インフラとしての、高知信用金庫の役割であると説きました。

心のふれあいを大切に

「時代に即応」と同時に山本会長が掲げたのが「心のふれあいを大切に高知信用金庫を創る」でした。「法人」という人はいません。全ては「人」のため。一人ひとりの人間こそが、地域を創ります。山本会長は、高知信用金庫が地域に必要不可欠な存在となるためには、「時代に即応」と「心のふれあいの両輪が必要だ」と説きました。この二つの言葉は現在も受け継がれ、100周年事業の基礎、これからの高知信用金庫の礎となっています。

100年間、ずっと高知に



- ご 祝 辞
- 

創業100周年、誠におめでとうございます。真心よりお祝い申し上げます。高知信用金庫は、創業以来、良きにわたり、地域と共に歩んでこられました。信金中央会員は、信用金庫業界の中央会組織として、高知信用金庫と共に、地域の発展に尽力してまいりました。高知信用金庫が100年に向けて一層の飛躍を遂げられますよう祈念申し上げます。

信金中央会理事 柴田 弘之
 - 

高知信用金庫様が創業100周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。貴金庫におかれましては、常に新たな時代を捉えられ、革新的で利便性の高いサービスを提供することで、地域経済の発展に多大な貢献をされてきました。今後とも貴金庫の取り組みが、地域と社会の発展に大いに力になっていきますことを心より期待申し上げます。

高知知事 濱田 省司
 - 

高知信用金庫様の創業100周年を心よりお慶び申し上げます。100周年記念事業では、アニメ関連企業とクリエイターの連携によるアニメ聖地の推進や、地域情報発信アプリ「みんなのジモッパ」の開発など、県内各地の地域振興に積極的に取り組んでいただいております。高知信用金庫様の今後益々の発展を心より祈念いたします。

高知市長 岡崎 誠也
 - 

100年前に清崎の先陣方が役場の一室で立ち上げた「高知信用組合」が、広く高知県民に愛され、共に歩み、高知信用金庫として1世紀を迎えますこと心からお慶び申し上げます。高知の未来や事業、暮らしに少しでも貢献することを目指してまいります。

高知市長 楠瀬 耕作
 - 

高知信用金庫様、創業100周年誠におめでとうございます。本日は、半世紀以上にわたり指定金融機関としてお預りになっておりますが、山本正男終身名誉会長の遺志を引き継がれ、どきどきと高知を愛し、高知信用金庫が100年に向けて力強く歩んでいくことを確信するとともに心より応援しております。

中土佐府知事 池田 洋光
 - 

高知信用金庫の創業100周年、誠におめでとうございます。記念事業である「地域未来デジタル化貢献プロジェクト」は、地域事業者のデジタル化を強力にバックアップし、県内産業や地域の暮らしに貢献する、山本正男名誉会長が発案された高知信用金の「地域貢献」がしっかりと引き継がれた良事例です。高知信用100年の歴史に敬意を表し、皆様の努力に感謝申し上げます。今後更なるご発展を祈念いたします。

県議会議員 中谷 元
 - 

高知信用金庫創業100周年、心よりお慶び申し上げます。山本正男終身名誉会長の志を引き継ぎ、山崎理事長はじめ高知信用金の皆さまの「愛」で幸せな地域実業家の貢献に貢献の感謝を申し上げます。高知信用金庫の地、貴方が完成になって参りました。また、高知がクリエイターの聖地となっていくと期待しております。金融機関の枠を越えられた貢献に驚きと限りない地域愛を感じています。更なるご発展をお祈りし、お慶びにさせていただきます。

県議会議員 山本 有二

.com BANK

高知信用金庫

ドットコムバンク